

CASBEE®-戸建(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル:

CASBEE-戸建(新築) 2018年版

■使用評価ソフト:

CASBEE-DH_NC_2018v1.0

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	松山Y様邸		仕様等の確定状況	建物の仕様	一部確定
竣工年月	2019年6月	予定		持ち込み家電等	仮
建設地	松山市北井門5丁目529-2,-5			外構の仕様	一部確定
用途地域	第一種低層住居専用地域	確定	<備考> 外観パース等 図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください		
省エネルギー地域区分	6地域				
構造・構法	木造	確定	評価の実施日	2019年3月10日	
階数	2		作成者	三ノ宮 浩	
敷地面積	239 m ²	確定	確認日	2019年3月10日	
建築面積	94 m ²	確定	確認者	三ノ宮 浩	
延床面積	163 m ²				
世帯人数	4	仮			

2-1 戸建の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE ≒ 3.1 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする
Q1のスコア= 4.7

Q2 長く使い続ける
Q2のスコア= 4.3

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする
Q3のスコア= 3.4

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギーと水を大切に使う
LR1のスコア= 4.7

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす
LR2のスコア= 3.6

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する
LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		その他
総合 長期にわたり健康で安全な住宅、かつ、快適で省エネルギーな居住を供し、LCCO2がマイナスになることを目指す住宅です。		
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする 断熱性能をランクアップ外皮平均熱貫流率以上とし、快適な温熱環境が維持でき、健康的に暮らせる住宅です。	Q2 長く使い続ける 維持管理体制においては、長期優良住宅の維持保全計画に沿った内容を行っています。長期優良住宅に基づく住宅履歴情報・保存・管理も行って、不具合が生じた時の追跡調査も可能です。	Q3 まちなみ・生態系を豊かにする まちなみに対し、道路境界線に対し工作物は設けず道路に沿った景観を乱さないようにしている。また、隣接地に対しては十分な距離を確保し、日照、通風の妨げないような配慮を行っている。隣地住戸と比較しても建物高さは突出しないような形態としている。生態系に対しては、金魚鉢の設置も計画している。
LR1 エネルギーと水を大切に使う 暖冷房設備・換気設備・給湯設備・照明設備は高効率機器を採用し、強化外皮性能を超えるUA値0.37W/m ² KIにより、太陽光に依存しすぎないLCCM住宅です。また、HEMSを設置し、消費エネルギーの見える化に配慮しています。	LR2 資源を大切に使いゴミを減らす 構造材には、持続可能な森林から算出された木材を使用している。外装材、内装材においても改正可能材料で作られたものを積極的に採用している。基礎のコンクリート型枠には、省資源のため鋼製型枠を使用している。また、梱包材の持ち帰りや石膏ボードの分別収集など、リサイクルのための取組を行っている。	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する 野鳥の餌となる食餌木の植栽や雨水の地下への浸透を促す砕石敷きを計画している。設備機器の室外機を設置する場所については、隣接地に対して十分な空気を設け騒音・排熱等に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)